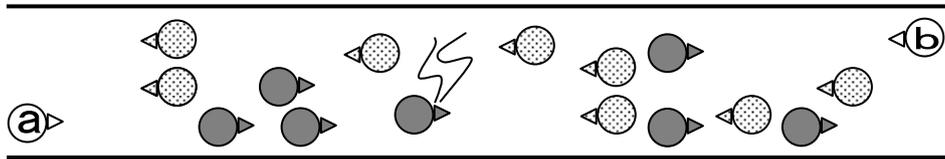


調査方法

1. 路上喫煙の調査

●ラインセンサス法



調査者 a、b は、徒歩で、調査対象路線の両側から同時刻に出発する。

調査者は、対面してくる歩行者の数と、喫煙している歩行者の数をカウントする。

(**a**は◀を、**b**は▶を数える。)

注意事項

- * 歩行スピードは、前を歩く人を抜かない程度、ウィンドウショッピング位の速度で歩く。
- * 調査路線では、路地ごとに、歩行者の数と喫煙している歩行者の数をカウントする。

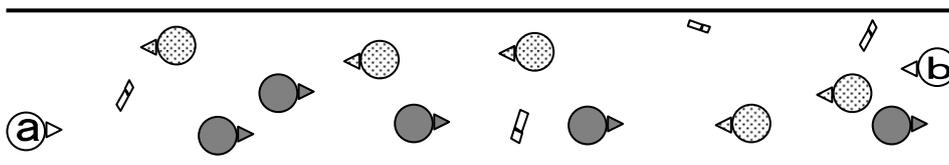
片道15分の速度・・・川越市駅～本川越駅通り

クレアモール通り

川越駅周辺通り

片道10分の速度・・・一番街・菓子屋横丁

2. 散乱ごみの調査



調査対象路線の散乱ごみ(たばこの吸い殻、飲料容器)をカウントする。

注意事項

- * aとbが、対象路線を同時に、逆方向からカウントする。【カウントするときは、散乱ごみを二重カウントしないよう留意する。(道幅が狭い路線では、道全体の散乱ごみをカウントし、中心で集合して終了。道幅が広い路線(自動車が通る路線)では、右側のみカウントし、全路線を調査する。)】

調査路線

